

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の診断基準（循環器）に関する研究

研究分担者 梶波 康二 学校法人金沢医科大学 医学部 教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症(TGCV)の臨床像を明らかにする目的で、左室駆出率低下または心筋脂肪酸代謝障害のそれぞれを端緒とした症例から、同疾患の臨床診断を目指した。その結果、新たに特発性 TGCV と診断された症例は無かった。前年度に診断された特発性 TGCV 例について加療を継続するとともに、心機能を始めとする臨床所見の変遷を観察した。

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）の臨床像を明らかにし、診断基準作成さらには新しい治療法開発への端緒とすること。

B. 研究方法

金沢医科大学病院循環器内科にて各種循環器疾患診療が行われた症例を対象に、以下の段階的手順により TGCV の臨床診断を進めた。臨床診断例では既報との比較を行うとともに、前向き調査対象例とした。

1. 左室駆出率低下（<40%）の原因精査目的に入院した症例
2. BMIPP 心筋 SPECT において洗い出し率（WR）低値（<10%）の症例
3. 上記2項目を満たす症例では、冠動脈造影、心筋生検、末梢血異常（Jordans 異常）を探索
4. 上記1あるいは2のいずれか一方のみを示す症例を後ろ向きに検討し TGCV 診断基準を満たす可能性

を有する症例の割合を検討した。

（倫理面への配慮）

通常診療の範囲を超える検査ならびに前向き調査については、その意義と内容を文書により説明し、文書による同意を得たのちに行った。また研究開始前に研究内容について当施設の臨床研究倫理審査委員会の審議を受け承認されている（No. I345）。

C. 研究結果

令和4年度は新たに5例が診断基準2020の2項目において境界域であったため、総合的検討を行った。その結果、特発性 TGCV 診断基準を満たす症例は見出せなかった。

2項目のうちいずれか一方を満たす症例を、心エコー記録および脂肪酸代謝心筋シンチグラム記録から抽出し、臨床情報をもとに特発性 TGCV 診断基準を満たす可能性を検討した。心エコーから68例、心筋シンチから15例が抽出されたが、診療録からは診断基準を満たすことは確認できず、今後の診療において追加検索を行う方針とした。

特発性 TGCV3 例については、診療継続（一部は関連病院において）が可能であり、いずれも心血管イベントは認められなかった。

D. 考察

特発性 TGCV の新規診断例は見出せなかった。症例を見出すための新たな方策として、主要診断項目のいずれか一方を満たす症例を後ろ向きに抽出し、診断「漏れ」の可能性について検討した。このようなアプローチを組み合わせることで境界域の臨床像を示す症例を見出すことが可能になるのではと期待される。既診断例の診療継続により長期予後を検証したい。

E. 結論

新規症例の診断により今後の研究発展が期待される。

F. 健康危険情報

該当せず。

G. 研究発表

1. 論文発表

Yasuda Y, Aoki H, Wakasa M, Fujita W, Kawai Y, Kajinami K. Glyceraldehyde-derived advanced glycation end-products are associated with the severity of cardiac function and heart failure in patients with diabetic cardiomyopathy. *Scand Cardiovasc J.* 2022 Dec;56(1):208-216. doi: 10.1080/14017431.2022.2095013. PMID: 35792728.

Fujibayashi K, Kajinami K. A case of myopericarditis after the second dose of mRNA

COVID-19 vaccine in a patient with a history of myopericarditis. *Clin Med Insights Case Rep.* 2022 Nov 21;15:11795476221138648. doi: 10.1177/11795476221138648. eCollection 2022. PMID: 36439701

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし